

## ソマリア沖への海自派遣反対!

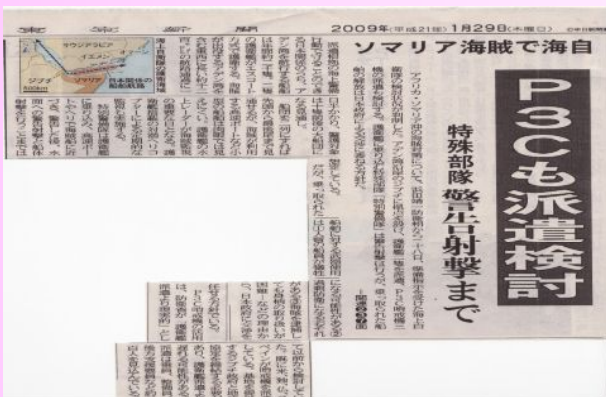
**軍事的発動はさらなる紛争・暴力を招くだけだ!**

政府は28日午前、首相官邸で麻生太郎首相と関係閣僚による安全保障会議を開き、アフリカ・ソマリア沖の海賊対策として、現行の自衛隊法に基づいて海上警備行動を発令し、海上自衛隊の護衛艦を派遣する方針を決めた。これを受けて、浜田靖一防衛相は赤星慶治海上幕僚長らに対し、派遣準備を指示した。

防衛相は「ソマリア沖の海賊は国際社会の脅威でもあり、早急に対応すべき課題だ。警備行動の発令に備えて遺漏なきよう対応してもらいたい」と強調した。

海自は指示を踏まえ、派遣する護衛艦を選定するほか、重武装した海賊に対処する訓練を実施。また、日本と現場海域で緊密に連絡を取り合うための通信設備を整えるなどの準備にも着手する。準備には1カ月以上かかるため、海上警備行動の発令を経て海自が実際にソマリア沖で活動を開始するのは、早くても3月下旬となる見通しだ。

(1月28日11時36分配信 時事通信)



日本国憲法  
軍事力の不保持は  
どこへ行ってしまったのか?

ソマリア沖で  
活動するフランス海軍  
6日 (ロイター)

「政府は、ソマリア沖における海賊対策として、海上自衛隊の派遣準備を指示した」と報道されています。

私たちは、いかなる理由があろうと、海上自衛隊＝海軍の派遣は憲法違反であり、平和のための解決と相反する行為であることから、今次海自派遣に絶対に反対です。